



少年センターだより

各務原市少年センター発行

令和8年度 第3号

令和8年9月28日

P1



秋の長雨も終わり、朝夕はめっきり涼しくなりました。日頃は、少年センターの青少年健全育成のための活動に、ご理解ご協力をいただきありがとうございます。

第3回補導委員中学校区代表者会 9月3日(木)

当初予定していた議題に加え、少年センターの再編成について、事務局から今後の方向を示し、校区代表の皆さんから意見を伺う会となりました。

【議題及び協議】

1. 4～8月の補導活動 実施状況

ほぼ計画通り実施され、教員の平日補導も8中学校区すべてで実施された。夏祭りなどの特別補導にも多くの補導委員が協力、参加した。声かけは、暑さのためか公園などに子どもの姿が無く、できなかったという報告が多かったが、反面、夏祭り等特別補導では「多数」「数えきれません」との報告があった。

2. 第2回中学校区別研修会・巡回方法の交流

各校区の巡回方法について交流をした。今まで通り車で移動する、徒歩で移動する、商業施設に集まりその後個別で公園などを巡回する、移動方法は班長の判断で行うなど、校区の実情に合わせて実施していただいている。

3. 管外研修について 11月5日(木)

参加者の確認・日程の最終確認を行った。

4. 補導委員交流会の開催について

11月20日(金) 18:30～

補導委員から小学校代表に必ず出欠連絡するなど、申し込み方法を確認した。

5. 少年センター補導活動の再編成について

補導活動の意義を再確認し、改選方法の変更について説明した。補導活動の方針・実施方法に同意していただける方に補導委員を務めていただくようにすることを確認した。



目次	
第3回 補導委員 中学校区 代表者会	P1
7～9月の 活動報告	P2

トピック

生活道路法定速度30km



9月1日より、改正道路交通法施行令の施行に伴い、中央線などのない、主に地域住民の日常生活に利用される一般道路の法定速度が時速30kmに引き下げられました。

《こんな道は特に気をつけよう！》

民家・商店が多い

通学路がある

天候等で視界が悪い

カーブが多い



7～9月の補導活動より (補導日誌から抜粋)

◆祭り会場周辺をパトロールしました。一緒に巡回した生徒指導の先生が声かけの中心となり、卒業生や中学生からの挨拶、声かけも多く、問題もなくパトロールも遂行できました。喫煙や飲酒といった行為も見受けられず、こちらからの声かけに対しても素直に明るく挨拶を返してくれる子どもたちばかりでした。20:45に抽選会があるようでしたが、その前にパトロールの時間も終わったため解散終了となりました。巡回時間を30分遅らせると、イベント終了時の子ども達の帰路への声かけもできました。＜夏季特別補導＞(八幡神社夏祭り)



◆徒歩で市民公園・学びの森周辺を巡回しました。市民公園の外周歩道で5歳前後の女の子とお父さんが散歩しており、女の子が落ちていたゴミを拾ってお父さんに渡していました。お父さんの手にはビニール袋があり、すでにたくさんのゴミが溜まっているようでした。素晴らしい事だなと感心しました。



◆暑い日だった為、公園で遊ぶ子どもの姿は見かけませんでした。アピタのゲームコーナーでは、家族でゲームを楽しんでおりました。小さなお子様には親御さんが近くにおられ、安心をしてその場を後にしました。

◆暑さも和らぐ気温でした(34℃)が、公園等、子どもたちの姿はあまりありませんでした。一部公園でペットボトルロケットをやっているご家族がいました。自由研究の実験らしく、家族総出でお子さんに協力していました。公園の活用はこうあるべきだと思いました。



◆連日の暑さが続く中でしたが、川島小学校、中学校周辺を徒歩で巡回をしました。サッカーの練習をしている中学生を見かけたので「お水をしっかり飲んで？」と声かけすると、停めてある自転車の水筒を指差して応えてくれました。小学校外トイレの中も確認してみましたが、落書きや異物なし。公民館自転車置き場もゴミひとつなくきれいでした。

◆子ども、幼児・小学生・中学生が約250人、大人が150人位の参加者がありました。子どもたちにはかき氷・わた菓子・お菓子が配布され、大変楽しい日でした。大人の方も同級生と会うことができ、大変喜んでいました。



＜夏季特別補導＞(羽場町盆踊り大会)

◆連日の猛暑の中、子どもたちを見かけたのは桜木町公園の横の日陰の路上でボール遊びをしていた小学生のみでした。「ボールが転がっても急に走ったら危ないよ。」と声かけをしたら、6年生くらいの女の子が「私がしっかり見ているから大丈夫！」と返事をくれました。

◆当日は多くの住民や家族連れが参加し、会場は終始和やかな雰囲気にも包まれていた。補導活動では、会場および周辺を巡回し、子どもたちの行動や安全面について確認した。参加された子どもたちは家族同伴で「三世代ふれあい納涼夏祭り」を楽しむ姿が多く見られ、非行や問題行動は無かった。地域の三世代が交流を深めるとともに、子どもたちの健全育成と安全確保を地域の関係団体と連携していくことが必要だと感じた。

＜夏季特別補導＞
(上中屋町三世代ふれあい納涼夏祭り)

